

ゆりの里だより

第 85 号

平成 28 年 6 月

宅 老 所
グ ル ー プ ホ ー ム
高 齢 者 専 用 住 宅
訪 問 介 護

佐土原町下田島 19659-1

TEL0985-72-0680

URL<http://care.net>

<http://15/vacuumato>

(宮崎市ゆりの里で

検索可)



熊本震災チャリティーイベント



たこ焼き作り



花しょうぶ見学



優しい時間(とき)の流れる、絆強い極楽の園
人情・心通わす第二の家
ゆりの里

若年性認知症ってなに？

若年性認知症は最近発見された病気なのではありません。100年前、ドイツで報告された最初の患者は50代だった、という記録が残っています。

若年性認知症とは18歳以上、65歳未満で認知症の症状がある場合を総称した言い方で、原因がつかめているものと原因が分からないものに分かれます。

旧厚生省の時代に若年性痴呆研究班が設置され、支援策の協議が進められるようになりました。

研究班は1996年度当時、患者数は2万5000人～3万7000人と推計しています。

しかし、現実にはその3倍以上におよぶとも言われています

アルツハイマー型認知症はお年寄りの病気じゃありません！

アルツハイマー型認知症というと、高齢のお年寄りの病気のように思われがちですが、もともとは若年性の病気、その年代には起こらない病変が脳に起きてしまう病気なのです。

高齢化社会になり、高齢者のアルツハイマー型認知症が増えたことで、老人性アルツハイマー型認知症と若年性アルツハイマー型認知症は区別されるようになりましたが、脳に異常が起きて認知症が進行していくには変わりありません。

若い人にみられるアルツハイマーは、脳の萎縮スピードも若い分、高齢者に比べると速く、社会的にも家族的にも大きな影響を与えます。

また、若い人の認知症はアルツハイマー型だけではありません。

たとえば、交通事故や転倒で脳障害を起こしたのが原因で認知症になる場合もありますし、脳梗塞などの血管性の障害から起こる認知症もあります。

いまだに原因がよく分かっていない若年性アルツハイマー型認知症ですが、ここ最近になって遺伝も考えられるのではないかとわかれるようになってきました。

若年性アルツハイマー型認知症には「プレセニリン」という家族性の危険因子が関与しているということまで分かっています。

しかし、それも一部のケースで、大半はまだ分かっていません。

◎お知らせ◎

- ゆりの里では、熊本地震災害における被災者の方々の受け入れを開始致しております。介護を必要とされる方、車中泊をされている方、避難所でお過ごしの方、ご希望される方へは無償にて食事・宿泊をお引き受け致します。お気軽にお問合せ・ご相談下さい。

◎無料体験実施中◎

- 認知症対応型グループホーム・宅老所での体験を1泊2日にてご自由にご利用頂けます。お気軽にお問合せ下さい